

「右肩上がりの幸せな人生」の『共通の法則』

ゴールまで完走して、「ああ、いい人生だった！」と思えること

BST
コメント

『共通の法則』は「人生の終盤にハッピーだと思えること。意味のない人生だなんて決して思わないこと」です。——人間の脳は「昔幸せだったから今は不幸せでも、足して2で割ってチャラ」なんて決して思いません。特に「最後の5年」が肝心で、「終わり良ければすべていい」=「いい人生だった！と最後に思えること」という『人生の法則』を意識したいものです



「右肩上がりの幸せな人生」を形成する『三つの共通土台』

(一) 『健康寿命』

身体的／精神的／社会的に良好で、「**健やか**」 (=Healthy) で「**康らか**」 (=Peaceful) な状態

(二) 『絆』

ライフキャリア的に良好で、人生のパートナーや周りの人と「心地良いパートナーシップ」 (=Good Partnerships) を築いている状態

(三) 『キャッシュフロー』

経済的に良好で、晩年は「見える収入」 (=年金+a) を最長化し、「見えざる支出」 (=医療・介護費) を最短化／最小化している状態

BST
コメント

『三つの共通土台』は《人生戦略》7層のピラミッドうち「1/2/3層目」の『①健康寿命／②絆／③キャッシュフロー』に当たります。これらについては、追って詳しく解説します

